ランチョンセミナー1

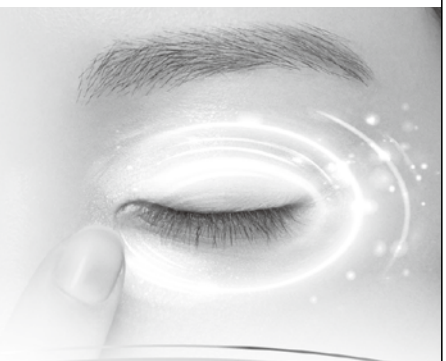
日時：9月27日（土） 12：10～13：10

会場：第1会場（ソラシティホール）

Santen

かゆみのない世界の実現にむけて

―他科連携の重要性―



アレルギー性結膜炎は、さまざまな疾患と密接に関係しており、複数の診療科との連携が重要な疾患です。例えば花粉症では、アレルギー性結膜炎とアレルギー性鼻炎が同時に発症することが多く、眼科と耳鼻科にまたがる疾患と考えられます。また、眼周囲の接触皮膚炎のように、皮膚科と眼科の連携が必要となるケースも多く見られます。さらに「アレルギーマーチ」を考慮すると、幼少期から小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科などが連携し、総合的にアレルギーをケアすることが重要です。このように、アレルギー診療に関連する各診療科が互いに理解を深め、連携することで、より質の高い医療を患者さんに提供できると考えます。昨年5月には1日1回のクリーム剤である「アレジオン®眼瞼クリーム0.5%」が発売されアレルギー性結膜炎治療に新たな選択肢が加わりました。

座　長

松田　彰 先生
（日本大学）

本セミナーでは、眼科・耳鼻科・皮膚科のエキスパートの先生方をお迎えし、アレルギーに関連する診療科間の連携の重要性や最近のトピックス、また「アレジオン®眼瞼クリーム0.5%」の使用経験に基づいたご評価や今後の期待についてご講演いただきます。明日からの診療にすぐに活かせる内容を多数盛り込んでおりますので、ぜひご参加をお待ちしております。

演者1

眼科と他科診療で密接に関わる
アレルギー疾患の診断と治療・チーム医療について

角　環 先生（高知大学）

演者2

重症化ゼロを目指した花粉症治療戦略

岡野 光博 先生（国際医療福祉大学）

演者3

皮膚科と眼科の連携の重要性と
アレジオン®眼瞼クリームの効果的な使用法

五十嵐 敦之 先生（いがらし皮膚科東五反田）

共催：参天製薬株式会社